

1. 平成 24 年 9 月中間期決算の特徴点

保険引受は正味収入保険料が増収したものの、損害保険会社の損益に影響する「地震保険および自動車損害賠償責任保険以外の正味支払保険金」が増加しました。そのため、損益に影響する保険引受収支は悪化しましたが、異常危険準備金の取り崩しが増加したこと等から、保険引受利益は 699 億円となりました。

資産運用は「利息及び配当金収入」が減収するなかで、国内株式市況の悪化により前中間期の 3 倍もの有価証券評価損が発生したため、損害保険会社の資産運用成果を示す代表的な指標である資産運用粗利益は赤字となりました。

その結果、経常利益は対前中間期比 74.1%減益の 360 億円となり、価格変動準備金の取り崩しにより特別利益が増益となりましたが、中間純利益は対前中間期比 74.6%減益の 259 億円となりました。

2. 保険引受の概況

(1) 正味収入保険料

正味収入保険料は、自動車保険・自賠責保険および傷害保険等が増収したこともあり、全種目計では対前中間期比 3.8%増収の 3 兆 7,070 億円となりました。

* 正味収入保険料 = 元受正味保険料 + 受再正味保険料 - 出再正味保険料

(2) 正味支払保険金

正味支払保険金は、東日本大震災に伴う地震保険の約 6,000 億円の支払いがなくなったことから、全種目計では対前中間期比 4,364 億円減少の 2 兆 3,997 億円となりました。そのため、全種目計の損害率は前中間期の 85.4%から 15.1 ポイントダウンし、70.3%となりました。

しかし、上記保険金のうち損害保険会社の損益に影響する「地震保険および自動車損害賠償責任保険以外の正味支払保険金」の支払いについては、前年度発生したタイ大洪水や当中間期に発生した爆弾低気圧・竜巻・台風などの自然災害に伴う火災保険等が増加したことにより、前中間期と比較してさらに 1,400 億円余り増加し、1 兆 9,800 億円と非常に高い水準となっています。

* 正味支払保険金 = 元受正味保険金 + 受再正味保険金 - 回収再保険金

(3) 事業費

「諸手数料及び集金費」は、保険料の増収もあり対前中間期比 3.4%増の 6,473 億円となりました。一方、「保険引受に係る営業費及び一般管理費」は対前中間期比 0.7%減の 5,685 億円となりました。

「諸手数料及び集金費」と「保険引受に係る営業費及び一般管理費」を合算した事業費は増加したものの、正味収入保険料が増収したことから、事業費率としては 0.7 ポイントダウンの 32.8%となりました。

(4) 保険引受利益

保険引受利益は、保険料収入の約半分を占める自動車保険の損害率が高止まりし、利益水準は厳しい状況が続いています。さらに、当中間期は国内外の自然災害への保険金支払いの増加による減益要因がありましたが、火災保険に係る異常危険準備金の取り崩しの増加や過年度に積み立てた支払備金取り崩しなどの増益要因があり、対前中間期比628億円増益の699億円となりました。

$$\begin{aligned} * \text{保険引受利益} &= \text{保険引受収益} - \text{保険引受費用} - \text{保険引受に係る営業費及び一般管理費} \\ &\pm \text{その他収支} \end{aligned}$$

3. 資産運用の概況

資産運用の中核をなす「利息及び配当金収入」は、国内においては10年国債応募者利回りが1.00%を割る水準に低下するなど厳しい運用環境が続き、外国証券の利息・配当金も減収したことから対前中間期比9.6%減収の2,308億円となりました。さらに、国内株式市況の悪化により、株式等の有価証券評価損1,982億円が発生したことから、資産運用粗利益は72億円の赤字となりました。

$$* \text{資産運用粗利益} = \text{資産運用収益} - \text{資産運用費用}$$

4. 総資産並びに純資産の概況

総資産は、所有株式時価の低迷や保険金や満期返戻金支払いに伴う外部への資金流出により、対前期末比4.0%減の26兆8,817億円となりました。

また、純資産については、その他有価証券評価差額金が減少したことから対前期末比10.6%減の3兆8,673億円となりました。

5. ソルベンシー・マージン比率

ソルベンシー・マージン比率は、金融庁長官によって早期是正措置がとられる水準である200%を各社とも上回っています。

協会加盟会社(2012年9月30日現在26社)

あいおいニッセイ同和損保、アイペット損保、朝日火災、アニコム損保、イーデザイン損保、エイチ・エス損保、SBI損保、au損保、共栄火災、ジェイアイ、セコム損害保険、セゾン自動車火災、ソニー損保、損保ジャパン、そんぼ24、大同火災、東京海上日動、トーア再保険、日新火災、日本興亜損保、日本地震、日立キャピタル損保、富士火災、三井住友海上、三井ダイレクト、明治安田損保

損害保険会社の平成24年9月中間期決算概況

